

2021年度広域的市民ネットワーク活動等助成対象事業が決まりました

当調査会では、市町村の枠を越えて行われる芸術文化、環境、福祉、まちづくり及び国際交流等の市民活動を支援しています。活動の成果や発表の場の経費を一部助成することによって、市民ネットワークや相互交流を推進し、多摩地域のひとつづくり、まちづくりへとつなげていきます。

継続申請事業 6事業(6団体)

事業名	団体名	事業実施予定日	実施予定場所
1 奥多摩ふれあいカーネーションフェスティバル2021	特定非営利活動法人 奥多摩カーネーションセンター	2021年6月6日(日)	奥多摩町氷川溪谷～白丸湖 特設カーネーションコース
2 檜原村お祭り見学会 ～郷土芸能と保存会の想いに触れる～	檜原学芸社	2021年8～9月	檜原村内各所
3 第4回多摩地区28市町対抗囲碁団体戦	多摩地区市対抗囲碁団体戦実行委員会	2021年10月17日(日)	府中市市民会館 「ルミエール」
4 山のふるさと村音楽祭	山のふるさと村音楽祭実行委員会	2021年10月中旬	東京都立奥多摩湖畔公園 山のふるさと村
5 ひのはら魅力発見！ 弘沢周辺クイズチャレンジ！！	ひのはら魅力発見隊	2021年10月～2022年1月	弘沢の滝周辺店舗
6 弘沢の滝冬まつり	弘沢の滝冬まつり実行委員会	2021年12月末～2022年3月	檜原村内弘沢の滝周辺店舗

*日程、開催場所については予定です。また、新型コロナウイルス感染症により変更・中止される場合があります。

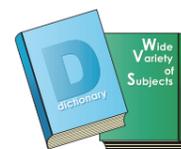
広域的市民ネットワーク活動支援 申請団体募集中！

多摩地域で広域的な市民活動をしてみたい、または、拡充したいとお考えの市民団体を対象に、活動の発表の場等の経費の一部を助成する制度です。

随時相談を受け付けていますので、お気軽にお問い合わせください。

[問合せ先] 公益財団法人 東京市町村自治調査会 事業部 企画課
TEL 042-382-7781

詳細はこちら▶



特定非営利活動法人

東京雑学大学

※受講の際は、必ずマスク着用のこと！

(受講料：会員は無料・会員以外は1回につき500円)

2021年6月講義案内

日時	講義テーマ	教授	教場
6月3日(木) 14:00から	記号としての帽子あれこれ	米山 益巳氏 (学習院女子大学名誉教授)	小金井市市民会館「萌え木ホール」 (JR武蔵小金井駅南口 徒歩7分 小金井商工会館3F)
6月10日(木) 14:00から	地域環境保全の切り札	田中 和男氏 (声楽家・元防衛大学校教授)	コール田無 (西武新宿線田無駅北口 徒歩7分)
6月17日(木) 14:00から	実業家渋沢栄一の論語と算盤に学ぶ	小牧 完次氏 (ビジネスコンサルタント)	小金井市市民会館「萌え木ホール」 (JR武蔵小金井駅南口 徒歩7分 小金井商工会館3F)
6月24日(木) 14:00から	植物の学名を読み解く —リンネの二名法—	田中 學氏 (元東京都立高校教諭)	小金井市市民会館「萌え木ホール」 (JR武蔵小金井駅南口 徒歩7分 小金井商工会館3F)

☆申し込みは必要ありません。直接会場へお越しください。
[問合せ先] TEL 042-465-3741(浅田) TEL 0422-52-0908(菅原)
東京雑学大学ホームページ <http://t-zd.life.coocan.jp>

※新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、6月講義を中止させていただく場合があります。
詳しくは東京雑学大学までお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

「多摩交流センターだより」の問合せ先

(公財) 東京市町村自治調査会 多摩交流センター

〒183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6F
TEL 042-335-0100 FAX 042-335-0127
ホームページ <https://www.tama-100.or.jp>
(当調査会ホームページ内にコンテンツがあります)

☆多摩交流センターは、広域的なネットワーク活動の支援、多摩地域市民交流の場の提供等を目的として活動しています。



編集後記

- 早いもので「令和」3度目の5月になりました。
暦では5月6日には立夏、5月21日には小満を迎え、気候は穏やかで春から夏へ向かう過ごしやすい季節となります。立夏は夏の始まりで、小満は秋に蒔いた種が育ち穂をつけ、ひと安心(小さな満足)という由来からの言葉とも言われています。
現実社会といえば、医療従事者に続き高齢者へのワクチン接種が緒についたばかりで、まだまだひと安心とは言えないコロナ禍の中にあります。
- さて、パンデミックの影響で紆余曲折を経て、延期となった東京オリンピックの開会式(7月23日)まであと約80日です。海外からの観戦旅行者を迎えられないのは本当に残念ですが、このような厳しい状況の中でもきめ細かな感染対策を講じるにより日本で開催できること、また、日本のおもてなしと風土の素晴らしさを五輪選手やメディア経由で世界にアピールできるチャンスに恵まれたことは、将来に向けて幸いなことであると前向きに捉えたいと思います。
- また、オリンピック直前の7月4日には、今後4年間の東京の進路に大きな影響がある東京都議会議員選挙も予定されています。今回の選挙は10月に任期満了を迎える衆議院議員

選挙の前哨戦と位置づけられており、国政選挙なみに各政党が力を入れるため、注目度がとりわけ高くなっています。多摩・島しょ地域の将来にも大きく関わりがあるので、是非、関心をもってよりよい地域社会の形成につなげていけるよう投票したいと思います。

○ 一方、オリンピックや選挙どころではない程、切迫した状態にある生活困窮者が多く生じていることも忘れてはならないことです。昨年は、夏季にもコロナ感染症拡大の波があり、今後も緩みや油断は禁物です。今以上に感染が拡大すれば、再度、社会経済活動や行動を制限せざるを得なくなり、その結果、困窮する人々が増えてしまいます。

○ ウィズコロナの社会のあり方について、これまで解ってきたことも多く、世界中の研究者により社会の課題や医療問題など様々な分野で数多くの知見が蓄積され、次々と有効な対策が生まれています。

これらの科学的根拠に基づいた合理的な対策や効果的な取組を社会と個人が継続的に行うことが、安心・安全な社会生活を守ることに繋がります。

長い忍耐が続きますが、「明けない夜は無い」ことを信じて、上を向いて進みましょう。(M.N)